

STAGE 3



マネー知識を 身につけよう

生活していくうえで、必ず必要なのが「お金」に関する知識です。

日々のお金の使い方はもちろんのこと、保険や子どもの教育費、さらには老後の備えなど知りたいことはいっぱい！

でも、どこから手をつけたらいいの？

この章はそんなあなたのためのページです。

お金の知識はなぜ大切？

お金は賢く
使わなくちゃ！



お金は日常生活について回るもの。仕事も家庭での生活もすべてお金に関連しています。ところが、これまで日本の社会では「お金の使い方」についてきちんと勉強する機会がほとんどありませんでした。お金は単に「使わない」「節約する」ということではなく「正確な知識を持って、適切に使う」ことが大事なのです。

ときどき「将来の生活が心配だから、どんなことにもお金は使わない」という人を見かけます。でも、そのような人は子どもとの夏休みの旅行もあきらめるのでしょうか？子どもにとってその夏休みは一生に一度だけのもの。後になって取り戻すことはできません。たとえ予算はたくさん取れなくても、できる範囲で旅行を計画したり、楽しい思い出作りをするのは積極的に行うべきなのです。また、「病気や事故が心配だから」と必要以上の保険に加入して、貯金にお金を回せない人もいます。これもお金の使い方がアンバランスな例のひとつといえるでしょう。このようなことは、いずれもお金に対する知識がないことから起こります。ぜひお金について正しい知識を持って「ムダづかいはしないけれど楽しく豊かに暮らす」生活を送ってくださいね。



こんな時お金はどの位必要？

教育資金

「1年あたりにかかる教育費の推移」

「教育ってこんなにお金がかかるの？」とびっくりしましたか。このような「将来必ず必要になるお金」は「早めの準備&しっかり情報収集」が鉄則です。具体的な準備の方法については、以下に4つの方法をあげておきました。ぜひ調べてみてくださいね。

	公立 (大学は国立)	私立
小学校 (公立)	31.4万	
中学校	46.9万円	127.5万円
高校	51.6万円	103.5万円
大学	63.8万円	132.2万円

小学校～高校：「子どもの学習費調査」報告書より学習費総額を掲載
大学：「学生生活調査報告」(平成16年)より、生活費を除く平均的な学費を掲載

●●●●●●●● どうやって準備すればいいの？ ●●●●●●●●

★学資保険

各保険会社でいろいろなプランを用意しています。保険料や内容の比較は「保険市場」が便利。
http://www.hokende.com/static/child/?pro_cd=wwov9299

★教育ローン

銀行や労働金庫などで取り扱っています。取り扱い銀行や利率などは「イー・ローン」で調べられます。
<http://www.eloan.co.jp/education/>

★自動積立

口座のある銀行や郵便局で1度手続きをすれば後は自動的に引き落としされます。

★奨学金

一番メジャーなのは下のコラムに紹介されている「日本学生支援機構」。
高校・大学には独自の奨学金があることが多いので、学校に直接問い合わせてみるのもお勧めです。

早めに、
少しずつ、
がんばって!



知らないとソンする！？ 「奨学金」の知識

「日本学生支援機構」 学校を通じて申し込み

奨学金は2種類で卒業後に返済する。第1種は無利息、第2種は利息付。
※ 詳細は、ナビダイヤル (0573-03-7240) で案内中

その他、独自の奨学金制度を持つ地方自治体や学校もある。
「借りる」奨学金ばかりでなく、なかには「もらえる」タイプもある。

こんな時お金はどの位必要？ 老後資金

老後資金は、やはり国民年金や厚生年金などの公的年金を基本に考えましょう。「将来ちゃんと年金がもらえるかどうか分からないから」と、加入しないしていると年金が支給される条件の25年間の加入期間に満たない可能性も出てきてしまうので気をつけてくださいね。

●●●●●● 加入する年金タイプはどのタイプ？ ●●●●●●

国民年金	厚生年金
20～60歳の国民全員加入が原則 国民年金保険料は月額14,100円(平成19年度) 25年以上加入しないともらえない	会社員、公務員が加入(年収130万円以上、もしくは労働時間が正社員の4分の3以上が加入の目安) 厚生年金の保険料は会社と半分ずつ負担する たとえ1ヵ月の加入期間でも、国民年金に上乗せしてもらえる



厚生年金の加入期間は、
わずかでも無駄にならないんだね！

でも、国民年金だって払うのが厳しい……というときは●●●●●●

知らないとソンする！？ 「年金免除」の知識

市区町村の国民年金担当窓口へ申請すれば、保険料の支払い免除を受けながら、年金加入期間にカウントされる

全額免除 → 保険料の3分の1を納めたことになる

半額免除 → 保険料の3分の2を納めたことになる

老齢年金は**25年以上**加入しないともらえない。

障害を負ったり、死亡してしまったときにも、年金加入者なら保障が受けられる。

未加入者は今すぐに手続きをしよう！

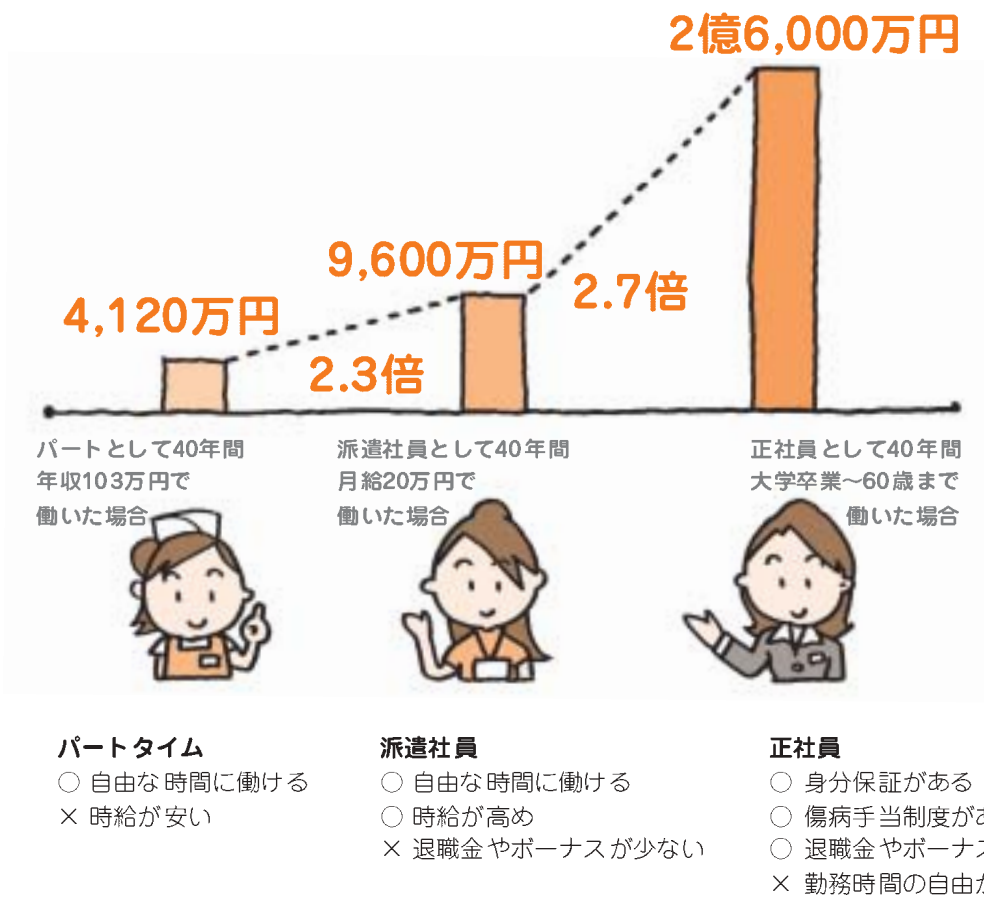
わかりましたか？



働き方とお金の関係



働き方によって一生で得られる収入はかなり違ってきます。やはり一番収入が多いのは正社員で継続して働いた場合。月収以外にボーナスや将来受け取れる年金が増える分、一生での収入が多くなります。でも、その場合、時間に追われる人生となってしまう可能性も。一方、パートや派遣で働く場合は収入的には少なくなりますが、フルタイムの正社員で働くよりも時間的なゆとりが持てるかもしれません。自分の状況に合わせてどの働き方を選ぶかを考えてみましょう。



パートタイム

- 自由な時間に働ける
- × 時給が安い

派遣社員

- 自由な時間に働ける
- 時給が高め
- × 退職金やボーナスが少ない

正社員

- 身分保証がある
- 傷病手当制度がある
- 退職金やボーナスがある
- × 勤務時間の自由が効かない

©FPwoman Co., Ltd.

知らないでソンする！？ 「経済的支援制度」の知識

児童扶養手当

平成20年4月から、制度が一部変わるので注意！

自立支援教育訓練給付金

教育訓練講座を修了後、受講料の2割相当を支給

(上限10万円 下限4,000円)

母子福祉資金貸付金

就労や児童の就学などで資金が必要となったときに、融資を受けられる制度。無利子の場合と、3%の場合がある。保証人が必要。

情報集めは
しっかり！



● ● ● ● お金を増やす3つの方法 ● ● ● ●

お金を増やす魔法はありません。でも、長期的な視点で準備していけば、10年、20年の間には予想以上に増えていたりするものです。キーワードは「あせらず、少しずつ、着実に」。

1. 節約

よく誤解されがちですが、「節約」とは「必要なものもひたすらガマンする」ことではありません。本当に必要なものは買ってよいのです。しかし、単に「欲しいから」という理由で不用意にお金を使うことは避けましょう。その見きわめをきちんとすることが重要です。

2. 労働（自分が働く）

何と言っても一番確実なのがこれ。ただし、生活が「仕事だけ」になってしまったら、何のために生きているのか分からなくなってしまう。子どもとの時間や自分自身の楽しみも大切にしながら仕事ができることが理想です。

3. 運用（お金に働いてもらう）

日本人は特に「お金は仕事をして得るもの」という考え方が強いのですが、これからの社会では「自分で働く」ことの他に「仕事で得たお金を運用する」ということも重要です。貯まったら、そのお金の一部で金融商品を購入して運用することも考えてみましょう。

家計簿をつけて家計管理をしよう！



家計管理の基本は「お金の使い方を知ること」から始めましょう。まず3ヶ月間家計簿をつけて、どんな支出をしているか記録を取ります。そのうえで自分のお金の使い方についてムダがないかを考えてみると効果的です。

STEP 1 1ヶ月のお金の出入りを記録する

ここがムダかも・・・と思うところを5つ挙げましょう

- 1)
- 2)
- 3)
- 4)
- 5)

がんばって



STEP 2 大きな支出を見直そう

- 1) 保険 共済などを利用。安い掛金で、最低限の死亡保障&医療保障を確保
- 2) ローン 住宅ローンは、繰上げ返済や借り換えも検討。キャッシングやカードローンはNG
- 3) 子ども費 習い事や塾は優先度の高いものだけに絞る

わかりましたか？



STEP 3 メリハリをつけてお金をつかおう

「なんとなく外食」「セールで安かったからまとめ買い」はムダのもと。つくり置きや在庫管理の工夫をしよう

よく読んでね！

STEP 4 先取り貯蓄で確実に貯めよう

「お給料-生活費=貯蓄」と「お給料-貯蓄=生活費」、どちらが貯まる？



年単位の収入

ボーナス等	円
	円
	円
合計	円

年単位の貯蓄

定額貯金等	円
	円
	円
合計	円

年単位の支出

住居費（住宅ローン、税金、火災保険等）	円
自動車費（自動車ローン、自動車保険等）	円
冠婚葬祭費	円
帰省・旅行	円
生命保険料	円
家電・家具購入	円
その他 1（ ）	円
その他 2（ ）	円
合計	円

★資産について

普通預金	円
定期預金	円
	円
合計	円

母子家庭のお母さん向け家計バランスの目安

↓月額20万円で暮らす場合

貯蓄	15%	30,000円
住居費（管理費込み）	25%	50,000円
水道光熱費	5%	10,000円
通信費	5%	10,000円
保険	5%	10,000円
食費（外食費込み）	15%	30,000円
子ども費	10%	20,000円
その他生活費	10%	20,000円
臨時支出（冠婚葬祭、レジャーなど）	10%	20,000円

月々の収入（税金、社会保険料を除いた手取り額）

収入 1 ()	円
収入 2 ()	円
収入 3 ()	円
合計	円

月々の貯蓄

貯蓄 1 ()	円
貯蓄 2 ()	円
貯蓄 3 ()	円
合計	円

月々の支出

住居費（家賃、住宅ローン、管理費など）	円
水道光熱費	円
電話代（携帯含む）	円
教育費・習い事	円
新聞代	円
保険料	円
自動車費（自動車ローン、駐車場代ほか）	円
こづかい	円
食費	円
日用雑貨	円
洋服（クリーニング含む）	円
美容院、化粧品	円
レジャー・交際費	円
医療費	円
その他 1 ()	円
その他 2 ()	円
その他 3 ()	円
合計	円

$$\text{月々の収入} - (\text{月々の貯蓄} + \text{月々の支出}) = \text{円}$$

		2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
家族	輝子	37歳	38歳	39歳	40歳	41歳	42歳	43歳	44歳	45歳	46歳
	桜	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
	(実父)	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳	67歳	68歳
	(実母)	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳	67歳
夢やイベント	桜小学2年生	簿記資格取得 父退職	経理で正社員になる	車購入			桜が中学に入学			桜が高校に入学	
かかる費用							入学 15万円			入学 15万円	

		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
家族	輝子	47歳	48歳	49歳	40歳	51歳	52歳	53歳	54歳	55歳	56歳
	桜	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳
	(実父)	69歳	70歳	71歳	72歳	73歳	74歳	75歳	76歳	77歳	78歳
	(実母)	68歳	69歳	70歳	71歳	72歳	73歳	74歳	75歳	76歳	77歳
夢やイベント		桜が大学に入学	大学2年	大学3年	大学4年	桜が就職				車購入(買換え)	
かかる費用		100万円	70万円	70万円	70万円	20万円					

教育費のピーク

		2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037
家族	輝子	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳
	桜	28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳
	(実父)	79歳	80歳	81歳	82歳	83歳	84歳	85歳	86歳	87歳	88歳
	(実母)	78歳	79歳	80歳	81歳	82歳	83歳	84歳	85歳	86歳	87歳
夢やイベント	桜が結婚		桜が出産	定年退職						年金受給開始	
かかる費用											

収入が途絶えるかも…

ライフプランニングシート

32ページの記入見本にならって、このページにあなたと子どもの年齢、将来の夢やイベント（進学など）、その際にかかる費用などを記入してみましょう。

	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
家族	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
夢やイベント											
かかる費用											

	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
家族	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
夢やイベント											
かかる費用											

	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
家族	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
夢やイベント											
かかる費用											

©FPwoman Co., Ltd.

保険のしくみと適正金額

保険とは病気や事故など万一の時に不足する費用をカバーするための保険金が支払われるものです。したがって、できることならば保険金の支払いを受けることなく、無事に生活できることが望ましいのは言うまでもありません。しかし、何があるのか分からないのがこの世の中。「お金がないから保険に入れない」というのではなく、「お金がないからこそ保険で備える」ことが必要です。

母子家庭のお母さんの中には「何かあったらどうしよう」という不安から必要以上の保険に加入して、その結果、貯蓄に十分な予算がとれないという人もいます。保険はあくまでも「万一への備え」にとどめ、生活を豊かにするために「貯蓄と運用」でいつでも自由につかえるお金を用意しましょう。

保険は掛け捨てタイプのものや共済を上手に利用すれば、必要な保障は確保できて、掛け金を少なく抑えることも可能です。保険の見直しをすることで浮いたお金ができれば、それを貯蓄に回すこともできるのです。

お勧め家計簿

1) シンプル家計ノート (オレンジページ) 290円(税込)

http://www.orangepage.net/money/051031_kakeibo/pop02.html
記入のしかたがごくシンプルで、お小遣い帳感覚でつけられます。290円という安さ的魅力。節約をするのに、家計簿にお金をかけたくない！という人にオススメです。

2) 新レシート貼るだけ家計簿 (主婦の友社) 550円(税込)

http://www2.shufunotomo.co.jp/webmado/detail.php3?i_sbn=4-07-244877-X
レシートを貼るだけでいくら使ったかがわかる手軽さが受けています。細かく費目を分けたり、計算する手間が一切ないので、とにかくラクにつけたいという人にオススメです。

3) スケジュール・ダイアリー&マネーブック (永岡書店) 630円(税込)

<http://www.nagaokashoten.co.jp/cgi-bin/bookinfo.cgi?category=../data/main.csv&line=59>
ポケットサイズの手帳で、左ページがスケジュール帳、右ページが家計簿 になっています。外出先でのあき時間にちょこちょこ記帳したい人にオススメです。

お役立ち情報源

1) 「知るぽると」 <http://www.shiruporuto.jp/>

金融広報中央委員会のウェブサイト。暮らしにかかるお金を調べたり、金利計算をしたりと幅広く使えます。家計簿もダウンロードして使うことができます。

2) 「WOMAN MONEY」 <http://www.woman-money.com/>

役立つ女のお金辞典。出産、仕事、マイホームなど人生の転機にかかるお金のツボがわかります。ライフプラン表もダウンロードできます。

3) 「生命保険文化センター」 <http://www.jili.or.jp/>

保険の基礎知識が身につきます。生活設計に役立つ統計情報も豊富にあります。